

北海道環境保全技術協会主催
H18 年度第 1 回環境保全技術セミナー
「最新アスベスト関連技術特集」

日時：平成 18 年 6 月 23 日（金） 午後 2 時～5 時 30 分

場所：かでの 2・7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

セミナー会場：5F・520 研修室

参加費：無料

< プログラム >

1．開会挨拶

（14：00～14：05）

2．「石綿関連作業における暴露防止対策について」

（14：05～14：55）

[概要]：石綿の除去等にとまなう健康障害とその予防法、作業環境の改善方法、保護具等に関する法的な体系や具体的な知識について、全体像を説明します。また、行政への届出に必要な情報やポイントについて、実際の窓口対応状況などの情報を交えて説明します。

[発表者]：社会保険労務士 鈴木祐一郎（特定化学物質等作業主任者）

3．「アスベスト偏光判定装置（PVS）による建材中アスベストの現場分析」

（15：05～15：55）

[概要]：アスベスト偏光判定装置（PVS）は、建材等に含まれるアスベスト繊維を、偏光判定法に基づいて判定する装置で、現場への持ち運びが可能で現場スクリーニングサービスに使用できます。PVSで明らかにアスベスト含有と判定できる建材をスクリーニングすれば、室内分析コストを大幅削減できます。このPVS装置の原理と能力について説明し、現場分析を実演します。

[発表者]：株式会社レアックス（道環協会員） 代表取締役 亀和田俊一

4．「セラパックシステムによるアスベスト吹付けの封じ込め処理」

（16：05～16：55）

[概要]：米国EPAでは、アスベスト除去工事が、アスベストによる被曝の危険性をむしろ高めると報告しており、米国での対策は、除去から封じ込め処理に移行しています。セラパックシステムは、新規開発した内部浸透材と固化材によって吹付け石綿の石灰質化を行うもので、石綿物質は強力で封じ込められるとともに、固化後の耐火性や付着性などの耐久性については公的機関によって実証されています。当工法の詳細と具体的な施工について説明します。

[発表者]：富士セラ株式会社 環境関連事業部長 藤井洋

5．閉会挨拶

（16：55～17：00）

参加総数 74 名（会員：22 名、非会員：13 名、官庁関係：33 名、その他：6 名）



